

甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成25年8月8日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（7名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	山本今朝雄君
	松井豊君		清水正二君
	猪股尚彦君		池神哲子君
	保坂芳子君		

議長 藤原正夫君

欠席委員（なし）

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中村宗和	書記	小澤明
書記	松井恵美		

議題

(1) 「市民と議会の対話集会」報告内容について

開会 午前 9時55分

○委員長（内藤久歳君） ただいまの出席委員は7名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

○委員長（内藤久歳君） 初めに、（1）「市民と議会の対話集会」報告内容についてを議題といたします。

既に協議していただいたとおり、今回はテーマを地域活性化について絞って行いますが、大変広いテーマであります。そのため、さきの全員協議会において、報告内容については当委員会で協議する旨決定したところであります。報告内容については、実施要綱案を協議した際に、先に議会の役割、仕組み等について簡単に行い、その後地域活性化について報告した後、意見交換を行う旨決定しております。

しかしながら、地域活性化については範囲が広いため、どのような報告をしたらいいか事前に事務局と協議を行いました。今回、1つの案を作成してありますので、このような形でいいか皆さんに協議をお願いしたいと思います。

それでは、事務局より説明をお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） それでは、パソコンを使いながら説明させていただきますので、前のほうに少し移動させていただきます。

それでは、市民と議会の対話集会、こちら、昨年度と同様パワーポイントのほうで作成しております。

まず、次第でございますけれども、次第につきましては、前回実施要綱案の中で協議していただいたとおり、開会から始まりまして班長挨拶、議長挨拶、議員紹介、その後、議会からの報告でこちらのパワーポイントを使って報告となります。その後、意見交換、その他、閉会というような次第となっております。

先に、先ほど委員長のほうからもありましたとおり、議会の仕組みについて前段で簡単に

説明をとということでしたので、昨年使ったのと同様のものを使いまして、その分、中身的には少しカットをしながら作成のほうをしております。

まず、議会の仕組みについてでございます。

開催の時期、こちらについては昨年と同様の内容となっております。3月、6月、9月、12月に定例会、あと臨時会というような内容となっております。

会期につきましては、市長の招集によって議会活動が始まりというような、この会期の説明となっております。会期は、その会期の初めに議長が会議によって諮って決めますということです。

この先に本会議からになります。議員全員が議場に集まって会議を行うのが本会議ということのような、こちらは昨年と同様の内容となっております。

委員会で、委員会もこういったことになっていきますということで、議会の役割と仕事で議会の役割を説明しております。

市議会は議会で市政を決めるために必要な条例や予算を決めます。市長と議会はお互いに独立した立場で審議を行いというような説明を行います。あと、議員数についてということで、議員数の説明を行っております。

議会構成についてということで、常任委員会が4つ、議会運営委員会と、あと議会特別委員会がありますということですね。

あと、ここからがそれぞれの委員会の構成、内容の説明になります。こちら昨年と同様の、審査事項はこういったことをやっていますというようなこととメンバーの写真、あと、審議の様子となっております。厚生環境常任委員会も同様でございます。審査内容、この辺までは昨年と同じとなっております。

建設経済、こちらは藤原議長と河野議員が交代になっておりますので、そこが変更箇所でございますけれども、そのため次の写真、こちらは写真を撮り直さなければならないので、こちらは後でまた建設経済の委員さんだけ集まっていたいただければと思います。写真を皆さんもう一遍撮り直したほうがよければ、またその辺は皆さんで協議いただければ、写真の交代はいつでもできますので、その辺もまたお願いを、説明係の中等で協議しながら行いたいと思います。それで建設経済の審議になります。議会広報常任委員会も同様でございます。それで議会運営委員会。写真があつて、議会改革特別委員会の皆さんです。こちら審査事項と写真となっております。

ここから会派になりますけれども、前回については会派の紹介、それぞれの会派のほうを

紹介しました。今回は、議会の仕組みについては、時間、簡単にということでしたので、こちらはとりあえず会派の名前と人数だけのご紹介でいかがでしょうかということをつくっています。特に八代議員さんも入っていないですので、その辺もあるかなと思ってちょっと名前と人数だけの紹介という形で一応今回つくってありますが、その辺は皆さんまたご協議をいただければと思います。

政務活動費ということで、政務活動費とはどういうことかという説明をして、1人当たりの1万円の政務活動費が出ていますという説明と、24年度はこういったことに使っておりますという報告になっております。

ここまでが、先ほどまでのところが議会の仕組みについてであります。今回、こちらを追加しております。というのは、この後、対話集会になりますけれども、対話集会で皆様からいただいたご意見につきましては、昨年の内容はこういった形で市民の皆様にはフィードバックしていますということをテーマの活性化について入る前に報告しておいたほうが皆さんが意見を言いやすいのではないかとということで、きょうこういったことでまた意見をいただければ、こういった内容で議会としてまた皆さんのほうに回答なり対応をしたいと思っておりますということのお知らせの意味で、先に対話集会の報告ということで、こちらのほうで設けさせていただきました。

前回の議会と市民の対話集会の対応についてということで、まず市民の皆さんからの質問への未回答については、議会だより34号、35号により回答をさせていただきました。また、対話集会の質疑応答については議会のホームページへ報告書、アンケート結果について掲載をしています。また、議会だより34、35号に特集記事のほうを組んでありますということで対応をさせていただいております。

こちらのほうがホームページになりますけれども、この下の部分、こちらのほうをクリックしていただければ、こういった形で報告書、またこういった形でアンケート結果のほうはごらんいただけます。また、こちらのほうが議会だよりのほうの抜粋でございますけれども、こういった形で特集記事のほうも組ませていただきましたということで、お知らせをしたいと思っております。

議会と市民の対話集会による調査・検討事項（抜粋）でございますけれども、3地区の対話集会で出されたさまざまなご意見に基づき、各常任委員会において協議検討を行いましたということで、まず、総務教育常任委員会ですけれども、震災の安全対策への取り組みについて当日意見がありました。そういった内容については、山梨県防災危機管理課へ講師を依

頼し、山梨県、甲斐市の現状と対策について研修会を行いました。また、AEDの開催について当局と検討することについては、消防防災対策室と協議し、消防防災対策室の窓口となり、消防署の主催により講習会を行うこととなりました。

続いて、災害時の地域弱者の方々への対応はどのような方法が最善か検討することについても協議した結果、甲斐市議会災害対策本部設置要綱を策定し、対応することとなりましたというような内容です。

次、厚生環境常任委員会です。こちらのほうについては、民生委員、長寿会、いきいきサロンとの意見交換会の開催についてご意見をいただいております、協議した結果、本年度、民生委員・児童委員協議会と意見交換会を実施することとなりました。また、聴覚障害者のAED講習会の開催について、当局へ要請することについてという要望もありました。それについては、申し出により、消防署により実施することは可能なため、福祉課が窓口となり、聴覚障害者の団体へ案内をすることとなりましたというような内容です。

建設経済常任委員会、議会運営委員会ですけれども、まず建設経済常任委員会は田富敷島線の件と地元の協議についてということでご意見をいただいた内容については、山梨県中北建設事務所より担当を招き、進捗状況について確認を行いました。また、下の写真にもありますけれども、議会中継の手話通訳や字幕の対応についてということでございますけれども、手話通訳については福祉課へ事前に申し込みをいただければ可能なため、聴覚障害者の団体を通じ、案内をすることとなりました。

ここからが、こういった形で市民の皆様から本日、その会場ですので、本日ご意見をいただければ、こういった形でまた皆さんのほうに回答のほうなり対応なりをしていきたいと思っておりますので、これから地域活性化について協議をいただくわけですけれども、できるだけ皆さんのご意見を願いますというような形で進めていきたいような形でこちらをつくっております。

ここからがテーマ「地域活性化」についてになります。

まず、市の対応でございます。地域活性化に向けた甲斐市の取り組みです。こちら、市長の25年度の所信表明の抜粋になります。

まず、活気にあふれるまちづくりということでございます。

農業の振興については、竜王赤坂地区活性化事業で取り組んだサツマイモの栽培については、敷島・双葉地区にも作付を行い、適地かどうかを検証するとともに、甲斐の本格芋焼酎、第2の新たな特産品となるよう引き続き製造販売に取り組みますというような形です。その

ほか、本年度はアスパラ栽培にも取り組み、地産池消事業などにより新たな作物も生産を図りますということです。

続いて、商工業の振興、観光推進についてであります。

商工会と連携し、地域産業の担い手である中小企業の皆様の支援を図ります。

観光推進事業については、観光巡回バスの運行や味覚探訪ツアー、甲斐市ちいさな旅などを実施するとともに、イルミネーション装飾など、竜王駅を中心とした地域の魅力を発信する活動を続けている竜王駅魅力発信協議会を引き続き支援しますとしています。また、歴史的施設である信玄提の集客を図るため、新たなバス等、大型車両用の駐車場の整備を行いましたということで、こちら現況ですけれども、大型バス2台の駐車場をこれから整備いたしますというようなことが市の取り組みとなっております。

議会の対応についてでございます。

地域活性化に関する代表質問、一般質問ですけれども、今の22年からやっている議員さんの任期の中で、代表質問がこれに関する質問が12件、一般質問が27件、皆さんが行っております。

まず、農業振興関係でございますけれども、13件、こういった内容の質問をしております。農家の現状についてから耕作放棄地の解消、茅ヶ岳の整備等、あとまた、中北部エリアの地域振興、クラインガルテン事業についてなど、13件の質問をしています。これは次に出しますけれども、これについては、この中から抜粋でございます。それで、本日はこの部分についても、皆さん、別冊のほうをご用意しておりますので、その中から選んでいただければと思います。

イメージ的に見ていただければと思いますけれども、まず、こういった質問を私たちはしていますということで、第6次産業、産業への具体的な内容は、市長の答弁は収益増の高い農業を図れるよう研究を進めるというような質問をしています。具体的にはどういうことかという、農家の減少と高齢化など、農業を取り巻く環境は依然厳しいと言わざるを得ない。そこで市長は今回の施政方針で第6次産業への参入を研究しているが、具体的な内容を聞くというような質問をしております。それに対して市長からは、「赤坂とまと」は24年度で3作目に入り、生産も軌道に乗り、甲斐市の特産品として消費者に好評を得ている。また、24年度から取り組んでいる「サツマイモ」の栽培は、芋焼酎を初め焼き芋やサツマイモの加工品などを販売し、これから地域ブランドとして確立したいと考えている。今後はサツマイモ栽培を初めとし、赤坂地区を中心に新たな特産品の栽培を研究する中で、生産、加工、流通、

販売を一体化し、収益性の高い産業が図れるよう、6次産業化の研究を進める考えであるという回答をいただいています。農業についてはこのような一般質問を議会としてはしておりませんというようなこととなります。

続いて、商工業関係になります。

商工業関係につきましては、こういった甲斐市の産業振興についてから商工業の活性化について、下今井の工業団地の拡大整備についてとか、赤坂ソフトパークの産学官連携についてなど、13件の質問をしております。

その中で、例えば中小商工業者への営業支援対策をということで質問したところ、利子補給制度を平成26年度の借り入れ分まで延長というような質問をしています。具体的には中小企業金融円滑法の延長を国・県に要請すべきであるが、市の見解はという質問をしました。そうしたところ市長のほうから、この法律は2回の期限延長を行い、25年3月31日をもって終了となったが、国や県では中小企業の経営改善、事業再生の促進等を図る支援を行っている。市でも甲斐市小規模企業者経営改善資金緊急対策利子補給制度を平成24年3月に、平成26年度借り入れ分まで3年間延長し、中小商工業者への経営支援対策を行っているという答弁をいただいたところでございますというようなことです。

続いて、竜王駅を中心とした活性化関係でございます。

こちらについては6件行っております。JR竜王駅周辺整備の開発についてから観光対策、後期基本計画の中の周辺整備について等、6件を行っております。

具体的には、竜王駅のバスターミナル化をということで、ターミナル化につながる施策を展開というような答弁でございます。内容的には、バス路線は甲府駅を中心にターミナル化されており、乗りかえは甲府駅を利用せざるを得ない。そこで、竜王駅に既存の成田羽田空港路線以外の高速バスをふやし、南アルプス市を初め県北西部への路線バスを誘致することにより、サテライト的なバスターミナルへ変貌することが竜王駅の利用者をふやすものと考えますが、所見を聞くというような質問をしていました。市長のほうからは、本市は鉄道駅に加え、路線バスの営業所、羽田成田空港線、名古屋線が発着する高速バス乗り場が竜王駅にあり、公共交通の利便性は高い地域である。さらに1日2往復の京都大阪線が本年度中に実現させる見込みである。今後も要望を重ね、竜王駅のターミナル化につながる施策を展開していくという答弁をいただいたところでもありますというような内容です。

最後、「観光・国文祭・その他」ということで、双葉スマートインターチェンジの現状とか国文祭の対応等の内容7件をしておりますということで、その中で、竜王駅の活性化に信

玄堤の活用ということで、信玄堤の魅力をPRし、竜王駅の活性化に活用する。具体的には、先ほど写真にもありましたけれども、信玄堤は春夏秋冬、四季の移ろいの中で、その都度すばらしい素顔を見せる。また、信玄というネームバリューも見逃せない。そこで、竜王駅の活性化について信玄堤の活用を提案するが、信玄堤公園の施設拡充と信玄堤へのアクセス歩道の整備などの考えを聞くという質問をしたところ、当局側からは、信玄堤へのアクセスは竜王駅から観光客が信玄堤などを散策できる安全なルートを調査し、ルート案内看板などの設置も検討したいと考えている。また、施設の拡張は、勤労青少年ホーム前の駐車場をバスが駐車できるよう拡張などを検討し、歴史的な信玄堤の魅力をPRして竜王駅の活性化が図れるよう活用したいと考えているということで、先ほど写真にもありましたとおり、駐車場の整備等も行われることになっておりますというような説明になるかと思えます。

以上が議会での地域活性化についての質問内容となっております。ですので、皆様からこの後またご意見をいただくわけですが、地域活性化について皆様のご意見をお願いしたいと思いますということで、地域活性化についての説明、報告をこのような形でいかがでしょうかということで案のほうを作成させていただきました。

以上が報告の案でございます。よろしくご協議のほうをお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

非常にわかりやすい今までの経過と、それから地域活性化ということについての案ということでお示しをしたところでございます。

この流れについて、何かご意見等がありましたらお願いをいたします。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 最初からなんですが、会派の紹介のところで、会派の人数だけでしたけれども、やはり会派の名前だけは、所属の議員の名前はきちっと出したほうがいいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

今、会派の紹介ということで、先ほどの案ですと、人数のみということでしたけれども、今、名前も表示したほうがいいんじゃないかというようなご意見でございますけれども、この点についてはいかがでしょうか。名前も入れたほうがよろしいですか。

ほかに何かご意見ございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 今の話なんですけれども、名前ぐらいいは入れてもいいんじゃないです

かね。

○委員長（内藤久歳君） ほかにはよろしいでしょうか。

では、今のご意見の中で、会派については今、案としては人数のみということでしたが、ここに名前を入れるということで進めていきたいと思っておりますので、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） では、会派の紹介については名前を記入するというので進めていきたいと思っております。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 会派に属していない議員という言い方なんですけど、これはこれでいいのかなど、本人に聞いたほうがいいのかな。これはこういう言い方でいくのは、甲斐市議会としては決まっているんですか、聞きたいんですけども。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） ただいま議会だよりのほうには所属なしということで掲載をしております。無所属というような言い方があるかと思うんですけども、無所属というのは政党に入っていないのが無所属とかというのと誤解を受けるので、じゃ、ほかの会派の人たちは党派に所属しているのかというような誤解を招きますので、無所属という言い方はできないかと思っております。

あと、もし可能とあれば無会派ですね。よく政党なんかでも、国のほうでは無派閥とかという言い方もしているんで、無会派、もし違う言い方に変えたとすれば無会派というのはありかもしれないんですけども、ただし、一説には無会派の会というものもある市にはあるんです。ですので、無会派の会という会派もあるので、そういう会派との誤解も招かないようにということで、甲斐市の議会だよりで所属なしというような今、表示のほうをさせていただいております。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 基本的に議会だよりと同じでいいと思うんですけど、もしあれであれば、本人にもご確認したほうがいいのかなというふうに思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） 今の意見ですけども、本人に確認をするという内容について、どういうことを確認するのかということになるかと思うんですけども、議会だよりでやっているんで、それに準じてやるということで、ここであえて本人に確認するという必要があるのかどうかというところを。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 実際の話をしてますと、今回の議会だより、所属なしと書いてありますが、本人のほうからは、所属なしという言い方はというような話があるという話は事務局は、本人からじゃないですけども、そういう話は聞いてはおります。

○委員長（内藤久歳君） 本人から聞いているのか。

○書記（小澤 明君） ですので、本人がそう、無所属じゃなくて、所属なしという言い方……

○委員長（内藤久歳君） いや、でも、会派に属していない議員だから、所属なしということとはまた違うですよ。この中で会派にしては属していませんよという意味合いだから、所属なしという表現はしていないから、いいんじゃないかとは思いますが、その辺も何か。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 結構本人の意思なので、本当は本人が考えてこういうふうに言っていると思うんですけども、これでいい、ご本人がこれがいいというならこれでいいんじゃないでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） この表示は、ですので、議会だよりとはまた違いますよね。所属なしとしていませんので。議会だよりに合わせるのであれば、所属なしと書いてしまいますけれども、その辺はいかがでしょうか。それとも本人に事務局で確認をしたほうがよろしいですか。

○委員長（内藤久歳君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） この言い方だったら、無会派というのを1つ最後につけ加えてあったほうが私はすっきりするなと思うんです。だから、無会派なら無会派でいいと思います、そういう言葉を使っても。会派に入っていないということで。1行あんなふうにして書くんじゃないかと。所属という話が出てくるので。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） みんな、会派というのは自分たちで考えてこれにしてくださいとやっていますよね。だから、やっぱりご自分で考えてきちっとやることかなと思います。

○委員長（内藤久歳君） では、ちょっとまとめたいと思います。

この件については、一応この今、我々が考えている会派の提示の仕方ということは、こう

いう案として事務局が考えていると。それと同時に議会だよりはこういうふうに行っている。それを踏まえて個人の意見を聞いて決めるということではどうですか。

そうすればこっちがいいのか、あれがいいのか、私はこうしてほしいという案が出てくるか、そういったことになれば、本人の案を採用してここへやるというふうなことでいきたいと思えますけれども、いかがでしょうか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 会派は一応2人で会派でしょう。だから、1人は当然会派に属さないということになるんですから、名前とか何とかというより、これが自然じゃないですかね。

○委員長（内藤久歳君） そうなんだけれども、そういうご意見もあるので、一応本人に確認をしてやったらどうかというご意見なので、そういう段取りを踏んで決めたほうがいいかなということですから。そういうことでいいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでよろしいですか、会派に属さない議員の紹介の仕方ということについては。

よろしいですか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） このうたい文句は会派の紹介だからね。だから、今、委員長が言った、今、清水委員も言われたとおり、この内容でいいんじゃないですか。あとは、どうしても確認するならば、本人の確認だけして、これでよければこれでいいという解釈でいいと思う。

○委員長（内藤久歳君） それでは、そんなご意見があるようですので、そんな形で進めて、この属していない議員というところの部分については、本人の意思を確認した中で決めるということではよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） では、そんな方向で。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 確認なんですけど、会派の定義というのが今出ましたよね、2人以上と。会派に属していなければ会派に属していない議員という紹介の仕方なんですけど、でも別にあれですよ、この議員でいるということに関して、会派に属さなければ議員ではないという定義ではないですよ。だから、やっぱりちゃんとそれは1人でも認めるということなので、何かのときに一々名前の呼び方が変わったんじゃないかと、私はやっぱりこの名前というよ

うな、会派じゃないけれども、何々会とつけられないということですか。

○委員（清水正二君） これ上にあるように会派の紹介ですから、現実からいけば、会派に入っていないければ紹介はないわけですよ、こういう定義になるでしょう、定義とすれば。

○委員（保坂芳子君） それはそうですけれどもね。

○委員（清水正二君） だから、それに対してそういうふうに入っていない人が1人います、ここですよということだから、これでいいかと思うんですが。ほかに、今言う、池神委員がさっき無会派の無会派と言っていましたけれども、無会派という、無会派の会という会派という、そういう会派がほかにあるとすれば、やっぱりそういう表現とすれば、じゃ、1人も会派が成り立つのかということになるんで。基本的にはこれでいいのかと思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 甲斐市議会の会派及び会派代表者会規定がございます。その中で、見出しとして、会派に所属しない議員というような言い方をしている条項があります。その条項は、会派に所属しない議員の出席ということで、例えば会派代表者会、会派代表者会を会派に所属しない議員は議長の許可を得て代表者会に出席することができるというような言い方をしている、会派に所属していない議員の取り扱いについての言い方でどういう形をしているかということ、そういった言い方を規定の中ではしていますので、特に言っているのはこの一文しかないんですけれども、そういった言い方をこの会派代表者会規定の中では言っています。

先ほどの会派ですけれども、会派の結成には2人以上の所属議員がなければならないということで会派の規定をしている、この規定の中で規定をしております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） ということでございます。だから、会派の規定に基づいて会派というものの位置づけをするならば、この規定に基づいた表現の仕方が一番適切な表現の仕方ということになろうかと思えます。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 例えば、この会派の紹介をするときに、会派とは、主義主張を同じくする人々で、2名以上で結成するという、そういう規定があるというふうに書いていただいて、書けば、会派に属していない議員というと、ああ1人なんだとわかるんだけど。やっぱり、一人一人の議員のその何ていうか、重みとか立場というのは、1人だから、会派に

属していないから格が下がるということじゃないんですよね。だから、やっぱりそういうふうにとられるような感じはかわいそうだなと思う。そういうふうには思わないかもしれないけれども、感じるわけです。

だから、やっぱり会派というのに属してなくても、1人でも自分はきちっと主張して、私はやっていきますよという立場で彼女は多分いると思うので、やっぱりそこは大事に。それはそれであれかなと思うんですよ。そういった意味で……、でも、すみません、そういういきさつがあったということは知らなかったの、ちょっとお話をさせていただいたので。私のほうが認識不足のところもありますので、わかりました。結構です。

○委員長（内藤久歳君） では、この会派の紹介については、それを追加して……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ちょっと待ってくださいね。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 一番下も丸で書いたほうがいいかな。一番下の会派に属していない議員は、そこは米印じゃなくて丸。

○書記（小澤 明君） それは会派じゃないんで。足し算すると22にならないので、あそこに書かなければ22にならないということで米印で入れているんであって、会派の紹介ですので、そこに丸で入れると、その人が会派というのと同列になってしまう……

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） これは、議員の意思だから、別にそんなものにこだわる必要ない。自分で承知していることだから。

○委員長（内藤久歳君） では、そういうことで、一応今までの経過の中で、今、こういった会派の結成に対する条件等を一応ここに入れるということと、それから、これはあくまでも会派の紹介ということで、また、保坂委員が言っている議員の権利という、そういうものも尊重するという、これは当然のことだと思いますし、それは十分わかると思いますけれども、だから、先ほど言いましたように、一応この経過の中で何件かご意見をいただきました。一応事務局のほうで、その会派の紹介に対する表現の仕方ということに対して本人確認をさせていただいて決めるということで。今までもこういった形でやってきたわけですよね。前回もそうだよ。

○書記（小澤 明君） 前はまるっきり紹介がなかったと思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） しなかったか。ということだよ。それで今回……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） では、一応会派の紹介の表示の仕方についてはそんな方向で、本人確認を一応形の上ですということ、一応会派の規定等も踏まえる中でこういう形でやったということに進めたいと思いますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） わかりました。

では、そんな方向でお願いします。

ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 地域のこの前回の紹介をするところで、すみません、竜王と敷島の写真だったので、見つけてください。余りみんな見ていないというか、前回の様子というのであれかなと思うんですけども。

○委員長（内藤久歳君） どこの部分ですか。

○議長（藤原正夫君） 今度のチラシのあれには双葉の新しい写真ですよ。

○委員長（内藤久歳君） どこの部分を言っているんですか。

○委員（保坂芳子君） ここです。

○委員長（内藤久歳君） これ、だって3地区載っているでしょう。

○委員（保坂芳子君） 載っている、載っていないよ。

○書記（小澤 明君） この画面上では載っている。

○委員長（内藤久歳君） 画面上はね。議会だよりも3地区も載っているよね。

○書記（小澤 明君） これはこの抜粋で、こういったちょっと例示でとらせていただきました。

○委員長（内藤久歳君） これはあれでしょう、ホームページにこういう形で載せていますよという、その例を紹介されているだけで、別に特別……

〔「そう。特別ここを紹介しているわけじゃない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 一応例でやったということ、

3つ上げるといいますか。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 本当に説明するときにはこういった感じでいってしまうんで、今言った、アンケート結果はこうです、議会だよりにはこういった形で掲載していますとって言うてしまうだけなんで、これがあと1枚、半ページ入れるだけになるんですよ。

○委員長（内藤久歳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 立派なものつくってくれたんですが、大体何分くらいでこれをやる予定ですか。時間にしてどのくらいになるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 時間にして。時間は結局2時間というトータル時間を設定してあるので、その間でやるということになると思います。

○委員（松井 豊君） 説明の時間がどのくらいになるか、説明によって変わってくるだろう。たまたまこれの内容でいくとどのくらい、何分くらいなのかなとちょっと考えてしまうんで。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 前は読み時間が大体30分、説明していただく時間が30分までございました。今回このページ数だけでいうと、五、六ページ減ってはいます。ですので、その説明の仕方によって時間が変わってきますので、その辺はまだ形が固まっていないので、その時間まではまだはかっていないんで。説明係の皆さんと打ち合わせをする中で、1回通してどのくらいになるかというのはこれからの話です。

○委員長（内藤久歳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 3ページの上のほうの会期なんですけど、一応説明としてはこれなんですけど、実際に何月議会が何日くらいやっていますという、大体もうパターンは決まっていますので。例えば1カ月もやっていると知らない人も結構いるんですよ。だからそんなことも含めておおむね何日程度でこの何月議会と何月議会をやっていますとかという、何かちょっと入れたほうが内容を理解してもらえと思うんですけど、ちょっと抽象的過ぎてどうかなと思います。

○委員長（内藤久歳君） その辺はどうですか。

そういうご意見がありますけれども、会期について、年4回あるわけですけども、その会期の日程を、例えば3月は25日間だとか、6月はという部分も、そういうことですよ。そういうものを入れたらどうかということですが、その点について何かご意見はございますか、ほかに。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみませんね、反論じゃないですけども、この説明を細かくする必

要があるかどうかの判断です。これは説明係が説明するものであって、この中で定例会が何月にあるとか、そういうことがいいんじゃないですかね。そこまで詳しく入れる必要があるかどうかということですよ。

○委員長（内藤久歳君） だから、これ基本的に、第1回でやった部分の基本的な部分については、前回は踏襲してやって、さわりだけをやるということで、これは前回確認している事項なんですよ。ここでまたそのことを議論していくと時間がかかってしまうので、前回の一応議会の仕組みと議会の紹介に関しては、少し縮めてさらっとやって、ほかのところに時間を割いてやるというふうなことで前回ご理解をいただいていると思うので。この議会の紹介というか、全体のことに関しましては、前回の流れでいって、先ほど若干名前を省くとかそういうような部分もご意見をいただいたので、そういう部分については差し込んでいって、前回の流れでいきたいということで、この紹介、あるいは仕組み等についてはいきたいと思しますので、いかがでしょうか。

よろしいですか、そんな方向で。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 皆さんがそれであれば、別に特にいいんですが、議会だよりの中にも会期が入っていますから、わかっているといえばわかっているんだけど。意外と結構長い期間やっているということを知らない人もいますよね。昔の感覚で、議会というのは割と短期日で終わってしまっているみたいな誤解を持っている方も結構話してみるといって、ちょっと議会も時間をかけてやっているんだよということを理解してもらおう意味じゃ、さらっと触れたほうがいいのかなどは思ったんで。意見ですから結構です。

○委員長（内藤久歳君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） 19ページについて、意見と質問をします。

先ほどの話も触れたと思うんですけども、議会と市民の対話集会というのはまだ新しいものであって、市民の皆さんが参加している限り、非常に市民の人たちの関心も深いと思うんです。ここはやっぱり誤ってはいけないなと思うのは、先ほども言ったように、敷島地区と竜王地区だけが出ていて、例えばとなっているけれども、10区もあって2つぐらいを例えば出すならいいんですけども、3つしかないのに、じゃ、双葉はやらなかったのかなというふうになりかねないし、もし訂正していただくんでしたら、写真だけでも3つは載せて、その言葉の部分はそんなに細かくたくさん載せなくていいから、その辺は修正できないものでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） これはつくったものじゃなくて、議会だよりでこういった紹介をしていますという議会だよりを掲載しているだけです。つくったものじゃなくて、議会だより、もう既に発行して皆さんのお手元に行っている議会だよりにこういった形で掲載していますという、これはご紹介でございます。

○委員（清水正二君） そういうところであれば、説明でクリックして送るだけだから、一応1ページ、そこは双葉の分だけでもいいから、総じて載せたらどうですか。そんなに時間は、クリックする分にはかからんと思うんですよ。そういう意見があれば、それは平等に取り扱ったほうがいいと思います。

○委員（池神哲子君） もし自分のところが、竜王が入っていなかったら、やっぱりそう思うでしょう。

○委員長（内藤久歳君） これ一応あるじゃないですか。

○書記（小澤 明君） 議会だよりですので、文面じゃないんですよ。画面。議会だよりをコピーしているだけなので。

○委員長（内藤久歳君） とっているだけだから、これをやるにはページを追加しなければ……

○書記（小澤 明君） やりましたという紹介じゃなくて、議会だよりに掲載しましたという紹介なんですよ、これは。

○委員長（内藤久歳君） 紹介なんだけれども、それを紹介をしていたほうがいいんじゃないかという意見なんだけれども。

では、この件については、紹介ですけれども、3地区でこういう形でやりましたということを入れるということですので、じゃ、これについては入れるということ。

ほかに何かご意見ありますか。

山本委員。

○委員（山本今朝雄君） 質問に対して回答がありましたですね、今。その中で、民生委員さんと、それでは今後対話集会を開きます。AEDの講習会も開きますという回答があったんですが、それはもしできれば、じゃ、民生委員さんとの対話集会をいただいたこと、今回は幾月ごろを予定していますか、そういう具体的な日を入れたほうがいいかなとちょっと感じたんですが、その辺どうでしょうか。さっき回答がありましたよね。質問に対しての回答です。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） この資料をつくった時点では決まっていなかったんですけども、きのう10月の、あしたバスの中で皆さんにもまたお知らせしようかと思っていたんですけども、10月17だと思いましたがけれども……

○委員（山本今朝雄君） 今度決まったんですね。

○書記（小澤 明君） はい。ただ、意見交換会、ここだけですけれどもね、日が入るのは。意見交換会、ほかにもやりますけれども、ここは要望に基づいて民生委員さんとやってくださいという話なんで、民生委員さんとやることとなります。

○委員（山本今朝雄君） AEDなんかはわからんわけですね。

○書記（小澤 明君） AEDは紹介だけはしますけれども、申し込みがあって初めて開催になりますので、申し込みがまだあるかどうかという確認まではちょっとしておりません。

○委員（山本今朝雄君） わかりました。

○委員長（内藤久歳君） 今、日程的なものがわかっている部分については入れるというふうなことでよろしいですか。あと……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 対話集会の以前にやる日程がある分には予定ですと入れていただいて、それ以前に終わったものについてはしましたという形で入れるということ、日程の件については。そういう形でいいじゃないですか。

〔「7月18日」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） では、今ご意見がありました日程等については、これからのものについては「予定」を入れる、終わったものについては「しました」という形で日程、実施日等を内容の中に入れるということできたいと思いますので、よろしく願いいたします。

〔「ありがとうございました」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） まず、この地域活性化に関する資料ですが、すばらしい資料をつくっていただきまして、本当にありがとうございます。あとはこれをどうまとめていくか、この……

○委員長（内藤久歳君） ちょっと待ってください。まだその部分に行かないです。

○委員（保坂芳子君） どこの部分ですか、今。

○委員長（内藤久歳君） だから、さきの部分で今進めていますので、ちょっと待ってくださ

い。テーマに入る前の部分を今確認していますので。

今、さきの部分ですが、紹介等を含めて今ご意見を伺ったわけですけれども、その辺についてはほかにはよろしいですか。

いいですね。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） では、ここまでの部分についてはこんな方向で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、今の保坂委員の質問に移りたいと思いますけれどもどうぞ。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） これほど立派な資料をそろえてもらったので、これをどういうふうにするか、この3回のあれでやっていくというのは非常に大変だなとも思いましたけれども、その中で、さきに市の取り組みというのがありましたよね。その中で、例えば赤坂とまとの話が何回か出てくるんですけども、地域活性化の中で。私なんかスーパーに行くたびに必ず赤坂とまとを買ってくるんですけども、やっぱりそんなふういきょう来た方が、1年中売っていますので、赤坂とまとを見たらみんな買ってこようみたいなふうにしてもらえるように、できれば、こういうふうにやりましたけれども、こういうふうに売れているとか、こういう販売路とか、何かもうちょっと結果的なことで数が出せるものがあれば出したほうがいいんじゃないか。やっていますけれども、その先が見えませんか、要するにこの来ている人とのつながり。じゃ、こういう活性化にどうやって私たち、何こうしたらいいのというふうに、書くことですよ、やっぱり1つは。行ったら、そんなものを見つけたら、これそうだ、赤坂とまとだ、買ってこようとか、これを食べて意見を言おうとかということは活性化につながると思うんですよ。

結果が出ていて、いい結果が出ていることに関しては、この巡回バスなんかもそうですけれども、何人乗っているとか、どういう感想が、県外から何人来てこんな感想が聞かれたとか、何かそういったものも載せてほしいなと思いますが。これだとただ説明だけなので、いかがなんでしょうか。どうなんですか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 基本的に議会報告会でありまして、議会がやった内容の報告であって、市の行政報告ではないかと思うんですよ。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） それはわかります。ただ、こういう活性化をやって、行政としても考えている、こういうふうに。そのやっていることが一生懸命みんな努力してこんなふうな結果も出ていますよということも、やっぱり報告というのは結果まで報告ですよ。やってそれで終わりじゃないので、どんな方向に行くのかなというところまで見えるような、やっぱり。じゃ、この際こんなふうにしたらいいんじゃないかと聞いている人から意見が出るぐらいのものがやっぱりないと、政策としてはやっぱりあれですよ。市長だって一生懸命やっているわけですから。そういうことを考えるんですけども、アピールというか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） こちらの一般質問の答弁のほうを見ていただければわかるとおり、福祉とか厚生とか、エピペンをやったとかですね、インフルエンザのウイルスをやったとかというのは結果が出ていますけれども、事活性化につきましては、これを見ていただければわかるとおり、協議検討する、研究するという答弁がほとんどでして、結果が出ているのは、駐車場ができたとかそういった部分で、私もできれば、この一般質問をやりました、結果的にこうなりましたというところまで持っていければいいかなと思ってこの資料をつくらせていただいたんですけども、そういった部分がこの事活性化についてというのは市でも手探りな状態が多い部分が多いテーマでございまして、そこまで出せればいいんですけども、出せるものを出していただければいいんですけども、結果的に議会の報告として、私たちが質問をしてこうなりましたというこの流れがつくれる質問が少ないテーマなんですよ。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そのとおりだと思うんですが、ただ、赤坂とまとなんかに関しては、例えばどのぐらいの投資をしていて、結果としてこのぐらい販路として売れているというのが私たちも知らなければ、本当はそうじゃなければ、それが本当にこのままやっていってどうかというあれは、本当は評価というのにまでつながらないとあれですよ。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員、これ今、これだけの資料をつくってきて、今までの地域活性化に関する我々議会活動の中で質問してきた内容なんです。これをどれにするかというのはここで決めるわけですから、そのことをテーマとして、じゃ、今言うように具体的に言えば赤坂とまとについて報告会をしましょうよということに関して、それに向けて我々が質問をした内容について市がどういうふうに答えているか、それを受けて、じゃ、皆さんどう思いますかという形で意見を聞いて、そして今後、じゃ、今、保坂さんが言われたように、もっと市民が地元で生産をしているものを買いましょうとか、そういうことに関して皆さん

はどういうように考えていますか、知っていますかとかというやりとりの中で、活性化に向けては、やっぱり市民の皆さんがこの赤坂で生産しているトマトを買っていただくというのがまず第一歩じゃないですかというようなことのやりとりの中で、活性化に向けていくという、そういう道筋だと思うんです。

だから、今やる、この中に決まったわけじゃなくて、この中からどれを、例えば農業振興についてはどれをやるか、商工業についてはどれをやるか、観光業についてはどれをやるかということテーマとして決めて、あとは、今度はみんなの中でそのテーマに対してどういった形で報告会につなげていき、なおかつさっき言ったように、その結果としてつながるようなことを市民の皆さんとやりとりをしながら進めていくということだと思うんですけども。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そんなに長く言うということじゃなくて、例えば1つの例として、活性化でもこんなふうになっている例もありますよ、1個ぐらいですよ、だから。全部こんなふうやってこうじゃない、こういうものはこういうふうにやりましたけれども、だってもう合併して9年、10年たつわけですね。1つぐらい、活性化としてやってきたものが1つぐらい成功していなければ、格好つかないじゃないですか。

だから、何か見つけ出して、それを詳しく説明するんじゃなくて、これはこんなふうになってきましたけれども、成功しましたみたいなことを一言言えばいいわけですから。別に説明をだらだらやる必要はないと思います。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 保坂委員の言っていることもわかるんだけど、ただ一つ言えるのは、これ意見交換会ですよ。要は、聞かれたことに議会として答えを出すということが1つと、そして逆に市民の皆さんの今後の活性化に対して意見を求めることも大事。ということですから、最初から決まった数字を全部連ねて説明するのがいいなのか、それともある程度の質問が出たときに、それを議員として答えを出して、さらにそれ以上の活性化をどうしていくとかということ市民の声を聞き入れることも大事なんですよ。僕はそういうことが狙いだと思っているから、やりとりが大事ではないかと思っています。

だからレジュメのほうに数字をうたうより、ポイントだけでも年間にこれだけの売り上げがあります、生産量がこれだけあります、3年たちました、内容はこうですよということを議員が説明することが意見のやりとりになるということですから、その後求めることは、一

般市民の皆さんの意見も聞くということが大事であれば、そこでやりとりができるのではないかと、そんなふうに感じますけれども。

○委員長（内藤久歳君） 一応案として、農業振興については赤坂とまががいいんじゃないですかという、事務局と協議をする中でこういう案を一応お示しさせていただきました。中で、もしそれよりはこっちのほうがいいんじゃないかということなんですよ、要は。だから、もし別のがいいよということであれば別にするし、できればです、こういった……

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） この活性化のテーマが上がっている部分から選択肢をしましょうよということでしょう。農業振興についてはこれを選びましょうと、それを提案しているんですよ、今。

○委員長（内藤久歳君） そうそう。その中で、これだけあるけれども、その中で農業振興については赤坂とまとでどうですかというんで、ここにずっと観光、ありますよね。ですから、これをたたき台にしてなんですけれども、基本的に範として示したもんですから、これでいければいいかなというふうに思っていますけれども。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 基本的に3地域とも同じものをやりますか。それとも地域に合わせて選びますか。難しいですかね。

○委員長（内藤久歳君） その辺もご協議をお願いします。私としては、別々にやるというのも非常に大変だと思うので、同じテーマで3会場でやるというふうなことがいいかなというふうには思っております。

よろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 地域活性化というのは非常に抽象的というか、捉えどころがなく、自分もきょうここへ来るまでちょっとイメージがどうしてもつくれなかったんですよ。事務局のほうでこれだけ立派なものをまとめてくれまして、これはこれで非常に参考になるし、これも一つの報告かなと。

というのは、活性化ですから、今の国のデフレ不況だとか経済状態も実際問題としてありますし、当然医療や福祉や教育が充実していないと活性化にもならないしということで、そうやって幅広くとっていくと、結局何でもということになってしまうんで、これもまたとりとめがないかなということでちょっと悩んでいたんですけども、これは一応産業の活性化

を基本にしているんで、これはこれで非常にいいと思うんですが、ただ、時間的に1時間以上の論議ですから、話題として十分出てくるのかという気もちょっとしますので。今ちょっと私も漠然とした意見で恐縮ですが、ちょっとそんな感想です。

○委員長（内藤久歳君） これだけのボリュームで、時間的に大丈夫かというご意見のようですけれども、これ実際問題テーマを決めて、それぞれの説明係と班長でやっていただくような形になると思いますけれども、先ほど係長が言いましたように、そういったある程度の流れが一通りのものができたら、またそこで一通り流してみても、時間をどこがかかり過ぎているのかということでもまた調整する部分もあると思うですよ。

ですから、一応全体像をつくってみて、それからさらっと流してみても、その中で時間調整をしていくというふうな形になるかとは思いますが、先ほど、時間の配分については、一応トータル的には2時間で、説明は前段の説明を含めて30分ぐらいをして質疑、応答というような流れになるかと思しますので、その辺におさめるような形で進めていくというのが基本になるかと思えます。

一応テーマについてですけれども、先ほど案として示した赤坂、農業振興ですが、これについては、また皆さんのご意見の中で、こういうことがいいのかというのがあればまた伺いたしたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 先ほどは4つに、農業、工業、利用駅、観光というふうに4つに分けてやっていただきましたが、これ4つそれぞれでやるつもりですか。

○委員長（内藤久歳君） 別にそれをここで決めるんですから、一応案として示した部分ですから、それをここで決めていただくということですから、意見を出してください。こんなに必要ないんじゃないとか、そういうご意見があったら出していただいて。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 委員長、これですが、これだけ細かくこういうふうに出してもらって、これを振興関係別に分けてくれていますよね。でも、この中でまだ縮められるんですよ。質問別に割り振ったからこれに分かれたんだけど、例えば農業振興に關すると、要は耕作放棄地と農業政策と、あとはこれ、観光にもつながる、茅ヶ岳のあの辺もやると3つぐらいに大きく分けられるということだよ。そうすると、これを細かくこう分けるよりはもうちょっと大きく分けて、このことに対してのテーマをぶつけると、市民からの意見も出しやすい。

それで、今言ったようにトマトだけに関することになる、そうは長くはとれないでしょう、赤坂とまと。でも、やることは、耕作放棄地が解消につなげるために今、そのトマトの関係だとかサツマイモの関係をやっていると思うんですよね。それがこの耕作放棄地の解消につながっているものだと思うから、これも一緒につければ時間はとれると思うし、赤坂とまとだけに1つ絞ってしまうと、恐らくある程度の質問が出てしまえば終わってしまうと思うんです。だから、これ言えることは、商工業に対しても竜王駅の活性化に対しても、これは幾つも出ているけれども、この中でもうちょっと凝縮させて、中を幾つものに分けなくて。例えば竜王駅の周辺整備について活性化、整備というよりは活性化だね、ということで意見を求めたほうがやりとりは時間がとれるかと思うんですよ。

この辺、これだけのしっかりしたものをつくってもらっていてこんなことを言ったら悪いけれども、でも時間帯とかそういうことを考えると、そういうやり方も、主題はこれだけあっても、そうは同じような意見が出れば、無理じゃないと思う。ただ、赤坂とまとだけに絞るということはちょっと時間的には難しいんじゃないかと。

この後言うと、サツマイモにつながり、じゃ、焼酎につながり、今度はアスパラにつながりといくと、その根本的なことを考えれば、活性化に向けるということは、やっぱり耕作放棄地の解消ということにつながるんであれば、そこを一遍に持っていけば、幾つかの質問につながるという形だから。もうちょっとやり方としては、時間のとれるような体制ができると思う、これは。これだけ数は多いけれども。組み方によっては全てその中に当てはまるということであって、多くの質問が出た中で切るということはうれしいことであって、去年の双葉地区でやったときは、もうないと。ないほど困ることないじゃないですか。いかがですかね、その辺は。

○委員長（内藤久歳君） 今、たまたま一応案として、農業振興については赤坂とまとというふうなことで案として示したわけですがけれども、今、猪股委員のほうからも、少し幅を広げたほうがいいじゃないかというふうなご意見もあって、ですから、農業振興について、今まで甲斐市が取り組んできたことに対して赤坂とまとが核にあると。そういう中で、今言われたように、それがアスパラに展開したり、そして、そういうことが、要はまた耕作放棄地にもつながったりというような関連性が出てくるというようなことで、テーマを赤坂とまとに絞り込むということだと狭くなってしまうので、もう少し幅を広げたほうがいいんじゃないかという意見ということですね。

だから、この農業振興についてはという、ついてということやっておいて、その中でど

ういう格好で持っていくかということのほうがいいのか。

○委員（猪股尚彦君） 例えば農業政策に伴う一坪農園等についてという細かいことを出すんじゃなくて、今言ったように、この下にいくと、耕作放棄地の解消や地域農業の発展を目指す、この大きな施策に対してテーマにする。そうすると、あと1つ言えることは、茅ヶ岳の広域農道の沿線について、そういうことをやっていけば、1つは農業の振興、そして耕作放棄地の解消、そして、いろいろ言えることは、今度はこれが観光につながるような話になるということでは時間をとれるという解釈。余りにも細かいことでやってしまうと、広がってしまって困るし、その細かい声に集中して物を言っても、せっかくの意見交換会だからと思うですよ。ちょっと難しいけれども。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） この内容というのは、要するに活性化に関する代表質問とか一般質問の内容を議会としてこういうことをやったという報告ですよ、説明の中で。その中で皆さんで意見交換会するものを、これを絞っていくということですよ。これそのものは、議会で今まで代表質問とか一般質問、こういった農業振興とか竜王駅を中心とかというものは、我々議会がその中で一般質問とか代表質問した中のこういうことをやりましたと。それで皆さんの意見をお聞きしたいということは今から投げかけるわけだから、これはこれで私はいいと思うんですよ、説明をする中では。議会としてこういうことを皆さんが質問をしていますということですから。その後の中でテーマを絞り込むかどうかということの議論ですね。ですよ。

○委員長（内藤久歳君） そういうことです。

○委員（清水正二君） だから、この中でどういうふうなもの、今、猪股委員が言うように、そういうふうに絞り込んでいってテーマを投げかけていってのほうが良いと思うんですよ。そうしていけば、ある程度絞り込んだ中でいけば、農業振興であれば、例えば竜王地区、双葉地区、敷島地区というふうな、3つくらいを中で上げて、テーマを絞り込んでいけば、それなりに各地域の中でもそういうものが出てくると思うんですよ、同じテーマの中で。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） これの対話集会をやった後のまとめ方なんです、この間は皆さんにアンケートなんかもとって、それに対して答えましたよね、議会側としてこういうふうな。今回これは、地域活性化のことは議会でこんなふうにはやっていますよと、こういう質問が出ていますよと、大体こんなことを議員は考えていますよということを提示しますよね。その上

で皆さんどうですか、ご意見はというふうに聞くところで終わりにするのか。それともその中で何かこう絞り込んで、じゃ、皆さんこういう意見が多いですねと。例えばそういうのが何か1つか2つ上がってきたときに、じゃ、これについて今後議会は対応しますよというふうにして終わるのか。そこはというふうに終わるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 基本的な形としては、第1回やりましたよね。そういうことで市民の方から受けたことに対して返したり、実際問題具体的に行動を起こしているわけじゃないですか。今、説明の中で非常に活性化というのは結論づけしがたいテーマであるから、その辺のところは、今度は今までみたいに議会が受けてそれを返すかということは非常に難しい部分があると思うんですよ。だから、その辺、やってみないとわからないというのが現状だと思うですよ。

だから、非常に難しいことだとは思いますがけれども、活性化について、農業振興、商工、竜王駅、観光というふうな4つの一つの案として示して、その中で今言ったこの振興化についてはこれ全部関連性がありますよね。だから、その辺について、じゃというふうに説明をしていくかということだよ。やって、実際こういう質問をしましたと、市長からこういう答弁をいただいていますよというところまでは報告としてはできるわけじゃないですか。それに対して市民の皆さんからいただいた意見が、それに対して市民の皆さんはどのような意見ですかという流れでいくとは思いますがけれども。だから、受けたものを今度はどのような形でまた返していくかという流れがあると思うんですよ。

だから、テーマとして、農業振興、今言ったように絞り込めないで、農業振興についてということで決めて、今までのその関係だったらこういう質問が出ています、それで答弁はこんなことをもらっていますという形で、でもそうはいっても、この中で何かに絞り込まないと糸口がつかめんですよね。ただ農業振興についてだけじゃ。その辺はどうですか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） ということは、こちらがある程度意図を持って、こういう方向でみたいいに話をしておくということですよ。

○委員長（内藤久歳君） 当然ですよ。だから、これらのことを踏まえて、我々としてはこう考えていますということテーマとして提案をすることだと思えますけれども。

藤原議長。

○議長（藤原正夫君） わかりました、だんだん。それで、中には、この間ちょっと自治会長、連合会のほうにお願いしに行ったときには、活性化にもいろいろあるから、今言うように、

農業振興だけで絞って、中には、いや、私はもう今商店街が建物も暗過ぎてだめだとか、ドブぶたが何だとか、こういうのも活性化の一部じゃないと言われて、そういう意見の人もかなりいると思うんですよ、うんと幅広く。だから、徹底的にこれに絞り込んでも、中には何かありますかと言ったら、ちょっと幅のずれたものが来る可能性のほうが多いような気がするんです。そこである程度、保坂委員が言ったように、猪股委員も言った、この中で関連したものがあるから、こういうことをもうこの時間の限られただけだから絞り込んでやりたいということを説明係か誰かがそういうふうな方向へ持っていかんと、かなりの答弁とか何とかで、もう農業振興であったらこれ1本ぐらいでやらないと、1時間というのは本当に過ぎてしまうと思うんですよ。

だから、かなりここでもって、ちょっと来た人にはあれですけども、事前に説明をしないと、私はそういうつもりで来たと、そうしたら農業問題だけだったというのだったら何かあれかなといったところですけども、そんなところもちょっと話し合ってください。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 活性化についてはこれ、農業についてはこれですよ、商工業についてはこれですよということでやっていくんでしょう。これをやって、農業だけやっていて、今、議長が言われたとおりにおかしな話になってしまうんであって、だから、この表書きはこれでいいんですよ。ただ、進行係がこれだけの質問が出ていますと。でも、まとめればこういうことになりますから、こういうことでどうでしょうかと今度質問を伺えばいいんじゃないですか。

この画面にはこういう細かいことを出して、これだけの質問が出ていますよと。ただこれをまとめれば、もっと二、三項目になるよね。そうすると、この商工業に対しては、商業にも工業にも関することを1つのテーマに出してやるということですよ。そうすれば、今、議長が心配するのは、せっかく来たのに農業の話ばかりして質問なんかできなんだということじゃなくて、この中には4項目か5項目ありますよね、最後のほうには国文祭についてとかそういうこともありますから、それをやっていったら何とかなるんじゃないですかね。進行係の采配でうまく振れば、まとめた中でテーマはこれですと、商工業の振興に対してはテーマはこれですとぶつけてやれば、聞きやすいし幅も広がるし、それでいいじゃないですかね。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） お聞きしたいんですが、手元には、来た方にはどんな資料を渡しますか。

○委員長（内藤久歳君） 資料はほとんどなし。

○委員（保坂芳子君） 渡さない。なし。じゃ、これは全くこの画面で見るだけ、こういう意見が出ましたとかということも。じゃ、こんな意見に対してこんな答えだったとかというのは全くここだけの話ということですか。ここにたくさんまとめてくれましたけれども、これは議員だけ。これすごいけれどもね、これ。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） お手元にお配りさせていただきましたこちらの資料につきましては、今まで議員の皆さんが22年4月以降、6月定例会以降ですね、代表質問、一般質問をした内容を抜粋させていただいております。

こちらのページのほうの右側にページのない部分については、こちら記事がないんですけれども、こちらの記事につきましては、この中から議会だよりに掲載させていただいた内容をこちらの質問と市長の答弁というほうをまとめてありますので、議会だよりに掲載していない部分は、大変申しわけないんですけれども、こちらでちょっと要約できませんでしたので、記事のほうの掲載はないということでこちらのほうはありませんけれども、議会だよりに載った内容がこれらの質問の内容になっております。

ですので、先ほどから皆さんご協議いただいておりますけれども、こちらのほうを資料として、説明としてつくらせていただいた意図としては、これだけの質問を議員の皆さんが今までしました。それで、質問した内容はこういったことをしていますというものの報告です。今回、議会報告内容の部分でございまして、報告としてはこういった報告をしていただいて、その後、先ほど次第を見ていただいたとおり、意見交換というのがございまして、その中で皆さんが感じたことを言っていただくというような意図で、あくまでも議会報告としてこちらの資料をつくらせていただいておりますので、これに基づいて協議をお願いしますということじゃない、つくった側の意図としては、これで協議を、このテーマでやってくださいじゃなくて、議会はこういう今まで質問をしたり、地域振興についてやっていますという報告内容を資料としてつくらせていただいたというのがこちらのほうの意図になっております。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） ということは、これは一応全部説明してもいいかどうか。それは今ま

とめてやるかどうかということを行っているわけですね。これをもとにしてこれからつくらなければならないということですね。

○委員長（内藤久歳君）　そういうことです。

だから、これだけいわゆる活性化に関する我々が議員活動をしてくる中で、市に対してどういう考えを持っていますかということをお問うているわけですね、これだけのことを。この中で、じゃ、報告をすると同時に市民との活性化に対する意見交換をして、それを今後の議会活動につなげていくかという一つの大きな流れだと思えますよ。だから、この中で、どれということじゃなくて、これは今、係長が言ったように報告ですから。とりあえず一応こういうふうにしましたということをお投げかけている。それでは今後活性化を進めていくにはどうしたらいいですか。それで当局からはこういう答弁をいただいていますという報告をして、今度はまた意見を伺うという流れですね。

だから、その中で、じゃ、農業振興については、例えば具体的に言えば、今後の甲斐市の農業のあり方と耕作放棄地対策ということでもってやって、その中で、その1つは赤坂とまともありますよと。クラインガルテンもありますよと、そういうことでやってきましたと。それで、それぞれの成果とか実績とかあるわけなんですけど、そのことによって、例えば一例を挙げれば、ロシアへも輸出をしていますよとかというふうな流れの中でやりとりをして、先ほど保坂委員が言ったように、もっと市民の皆さんもやってどうですかとかいうことで話を持っていくかという、そんな流れじゃないかと思うんですけども。

○委員（保坂芳子君）　赤坂とまがいっぱい出てきて。

赤坂とまのことは、今、行政側が進めていますよね。どっちかということ市長のそういう政策というか、提案で始まったことであって。それは私は、さっき言ったようにアピールしたらどうですかと言っているわけです。議会側としては、それはそれでまた新しいものとして、皆さんのこういう質問の中で何か目指していきましょうとか、またほかにあったら意見を聞かせてくださいみたいな感じでいくんだらうと思うんですよ。

じゃ、あれですか、ここを例えば8人いたら4つに分けて整理してやりますか。そういう話ですか。

○委員長（内藤久歳君）　猪股委員。

○委員（猪股尚彦君）　これ解釈してもらうのは、1回目の前回やった報告会、対話集会は、議員とは何ぞやとか議会とは何ぞやという説明で、要は報酬の関係、定数の関係とかいろいろもろもろ答えが僕らに直接かかってくることでしょう。だから、今回は違うんですよ。要

は、ここにつくってくれたことをこういう一般市民の意見の中に活用させてもらおうと。議会ではこういう質問をして、市の答弁はこういただいています。でも、皆さんの意見を聞きたいんですよ、これは。だから、皆さんの意見を聞き出す一つの対策とすれば、そんなに深くどうのこうの考える必要ない。僕らも議会としてはこういう質問をして答弁をもらっていますけれども、一般の皆さん方の意見を反映させたいから意見を言ってください。わからないことはできるだけ答えますということのやり方でいいんですよ。だから、それでいいんですよ。

だから、いろいろ議員が責められるようなことを解釈する必要もなければ、議員として質問したことをこのレジュメを活用した中で答えをやる。それでさらにもっとこういう振興に対して、活性化に対して、一般市民の声を聞き出す手口としての対話集会にすればいいんです。そんなようなことです。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 余り先のことを考えないで……。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 今、猪股委員の言う線がもっともだと思います。

いずれにしても、結局今回、活性化の課題が出てきたのは、市民のほうから活性化という話があったわけですがけれども、その中身が何なんだいというのは、僕らも大体想像はできますけれども、やっぱり市民から逆に伺いたいという部分もあるわけ。だから、必ずしも明確な答えは出せないものも結構あると思うんですよ。だけれども、市民の考えるというか、傾向と対策というのはわかるわけで、それを引き出すのが今回のあれかな。

だから、例えば農業についても、茅ヶ岳が間もなく仕上がるけれども、皆さんどういうイメージを持っていますかと、どうしたらいいと思いますかとか、そういう感じで、同じ農業でも3つか4つテーマに分けられると思うんで、それぞれ提案して意見をもらおうという感じかなと思います。ちょっとまだ整理できてませんけど。

○委員長（内藤久歳君） いずれにしても、テーマを決めなければならないから、農業振興ということでテーマとして、まずこういうことを踏まえて報告をするわけですよ。今言うように意見を求めるわけですよ。そういったテーマとして何をやったらいいのか。今までの皆さんのご意見を総合的に判断して、農業振興については、農業振興じゃなくてもいいですよ、ほかのことでも構いません。たまたま農業振興、活性化としてはこういうものがあるんじゃないかということの中ですから、別にこれがほかのことでもなくてもいいですよ。

休憩します。

休憩 午前11時23分

再開 午前11時30分

○委員長（内藤久歳君） 再開します。

では、今、このテーマについてということで非常に幅広く難しいということもありますけれども、要は、市の方針であります「活気にあふれるまちづくり」ということが活性化につながるというようなことの中で、農業振興については、ここにありますように、この赤坂関係ですよ。こういうことが1つの例としてあるというふうなことで説明をするというふうなことになるかと思えますけれども、こんな流れでよろしいですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） では、そういうことで、農業振興については赤坂地区というふうなことで、この説明をしていくということと、それからあとは、そういった全体的な中で質問事項等もいろいろあるわけでございますけれども、そういったことに関して一例を挙げてということになると思えますけれども。今後の商工業、竜王駅、観光ということに関しても、一応みんなそんな流れの中で進めていきますけれども、よろしいですか。以下、商工業、それから竜王駅、観光、この中で何かこの部分はこうしたほうがいいんじゃないかというようなこともあったら。例えばこの商工業の中でほかのものも入れたほうがいいのかとか、この4件ですね。商工業、竜王駅、観光、国文祭というようなことがありますけれども、ここに示してある内容のほかに、何かこの部分についてはこういうことを入れたほうがいいのかというふうなことがありましたら。

清水委員。

○委員（清水正二君） 竜王駅を中心とした活性化関係とあるんですけども、同じ駅であれば、双葉もあればね。これなかったか、その塩崎駅の……。

〔「ある程度整備だよ、ここ、塩崎ってね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 私も塩崎駅もと思ったんですけども、塩崎駅は活性化じゃなくて、整備についてという質問がほとんどだったもので、今回こちらのほう、竜王駅だけにさせて

いただいたんですけれども、その辺の捉え方がちょっと難しいのかなと思ったんですけれども。それは皆さんのご協議をお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 活性化関係になるんだけれども、整備もあれば、塩崎駅も当然駅ということであれば、駅に含めてまたそういう関連の両方を含めた質問というか、ご意見がいただけるんじゃないかと思うんで。私は整備も含めて双葉の塩崎駅も載せていただければというふうに思うんですけれども。

○委員長（内藤久歳君） 活性化という捉え方の中で塩崎駅も入れたらどうかという……。保坂委員。

○委員（保坂芳子君） ありがとうございます。

確かに今、活性化も含めて、あそこの道路の整備も、例えばラザウォークに歩いていく歩道の整備とかも、あれも全部活性化につながっていきますし、入れていただいたほうがありがたいです。そうじゃないと、双葉に行ったときの話し合いの中で、ちょっとやっぱり塩崎駅、あったほうがいいと思います。入れていただければ。

〔「じゃ、塩崎駅の関係も」と呼ぶ者あり〕

○委員（保坂芳子君） すみません。

○委員長（内藤久歳君） その辺もちょっと。

ほかにございますか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは今、係長のほうからちょっと商工業関係で、中小商工業者への支援対策をというふうなことの中で、例としてここに掲載したわけですが、商工業振興でほかのテーマというか、質問事項のほうがいいかなというふうなご意見もあればということですが、商工業の振興ということでどうかなというふうなことでございますが、よろしいですか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 中小企業への活性化の観点からいって、中小企業の支援ということになると、支援というかそういう形のものになると、非常に範囲が広がりますし、ここで上げる部分でいくと、議会としてもこういう質問をして、利子補給のそれを得たという中で、私はこの中小企業のこれで、これはこれでいいと思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） ほかにご意見ございますか。

藤原議長。

○議長（藤原正夫君） 今、そうですね、商工業というのはここに、恐らく竜王地区の、初日だけでもやると、多分ルネサスとか今さっき委員長の話の中であったように、こんな中で跡地とか何とかかんととか、どういうあれとかというような問題も、質問も出てくるかと思うだよ。そんな中は、大まかなわかる範囲では答えてもらうとしても、全体的には、やっぱり今、清水委員が言うように、これだけのものもたたき台にしてとえば、絞ってくれば、それでいいかなとは思っただけでも。双葉地区はこの下今井の団地周辺整備もあるしあれだけでも、竜王地区については多分そんな問題がかなり飛び出してくると思うんですけれども、そんなところも対応はやっぱり、何ていうかな、説明係さんについてはちょっと全体的にまた会議のときにはそういうこともあるよということをやちょっと頭の中に入れておいてほしいと、こんなふうに思います。

○委員長（内藤久歳君） 今、商工業についてはそんなご意見が出ました。あと、この4つの中でありますか、何か。

よろしいですか、こんな流れで。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、こんな流れで活性化についての取り組みということで投げかけていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

なお、報告内容については、今回決定いたしましたので、今後は説明係と班長で細かい調整をしていただき、最終的な内容を全員協議会において報告してもらうことにしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、ご異議がないようですので、そのように決定いたします。

なお、班長及び説明係へは事務局から連絡をお願いいたします。

次に、その他、委員より何かありましたらお願いいたします。

ございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 次に、事務局、何かありますか。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） 事務局もないようですので、以上をもちまして、本日の日程は全て

終了しました。

これもちまして議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時40分